

平成18年度 一般会計・特別会計決算認定!

平成19年深谷市議会第3回定例会は、9月3日から25日までの23日間の日程で開かれました。

決算認定12件、条例の制定3件、条例の一部改正5件、補正予算6件、人事案件1件、そのほか1件の28議案が市長から提出され、また、議員提出議案1件、市民からの請願3件が審議されました。

これらの議案についての審査結果は、13ページの表のとおりですが、ここでは主な質疑の要点を報告します。

9月の定例会では、こんな質疑がありました



◆議案第54号 平成18年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について
この議案は、歳入総額462億1810万9064円、歳出総額408億944万9069円、歳入歳出差引額53億2365万9995円となった。決算について、その認定を求めるものです。

問 平成18年度の本市の財政力指数は0.796であるが、当局はこの数字をどう考えているのか。
答 財政力指数については、基準財政収入額が需要額を上回っていれば、交付税をいただかなくてもよい不交付団体になります。本市については0.796と、県下で真ん中よりやや下ぐらいの数値となっております。今後、企業誘致や収納率向上など税収増を図ってまいりたいと考えております。

問 循環型農業推進事業の内容について聞きたい。
答 主な内訳として高品質堆肥製造施設の修繕に4070万円、施設の管理運営委託に2960万円ほどかかりました。

問 今後、高品質堆肥製造施設の運営はどうしていくのか。
答 検討してまいります。
問 放置自転車・自動車対策事業についてだが、今もお金をかけて放置自転車を処分しているのか。
答 平成18年度は、58万2120円の処分費をかけて332台処分いたしました。

問 修繕費4070万円の具体的内容について聞きたい。
答 主なものとして堆肥製造に関する機械の修繕に2240万円、汚水処理に関する機械の修繕に1660万円ほどかかりました。

問 平成18年度は、58万2120円の処分費をかけて332台処分いたしました。

問 お金をかけて処分するのはなく、売ることを考えてはどうか。
答 検討してまいります。

◆議案第75号 平成19年度深谷市一般会計補正予算(第1号)
この議案は、予算現額に歳入歳出それぞれ16億4360万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ426億9860万4千円とするものです。

問 (仮称)福祉交流センター! 教育研究所整備事業の内容を聞きたい。
答 国道17号沿いの旧消防署跡地に福祉交流センター・教育研究所を建設するため、そ

問 設計にかかる経費を計上したものです。この施設は、現在問題となっております軽度発達障害、いじめ、不登校などの問題解決に向け、教育と福祉が連携して対応していくための拠点として位置づけられています。また、福祉交流センターにはボランティア活動の拠点として、ボランティアルーム、ボランティアセンター、点訳室、朗読・録音室等も整

備していく計画です。
問 建設に当たり各種ボランティア団体等から要望は聞いたのか。
答 今後、意見を聞いてまいりたいと考えております。

問 障害者施設助成事業では、古河スカイ株式会社からの寄附金を活用して障害者福祉施設の運営経費の助成を行うとのことだが、どのようなものに助成するのか。
答 市内障害者福祉施設の改築、修繕、備品購入等に係る経費に対し、限度額を定め助成していく予定です。なお助成に当たりましては、各施設から希望を募り、古河スカイ株式会社を含めた審査会において、それらを審査し決定していきたいと考えております。

◆請願の審査結果
深谷市に在住する外国人学校・民族学校の児童生徒の教育の機会を制度的に保障するための教育助成に関する請願
深谷市上野台278-3 石田 貞 ほか3名 (継続審査)



◆請願第2号
深谷市発注の公共事業に対する請願
深谷市長在家1726 株式会社新井工務店 代表取締役 新井 一好 ほか43名 (不採択)

◆◆人事案件◆◆

■深谷市公平委員会委員に小暮 功子氏

■人権擁護委員候補者に 本田 嶺子氏

深谷市公平委員会委員唐沢美代子氏が、平成19年8月31日をもって退職されました。このため、後任として小暮功子氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

人権擁護委員本田嶺子氏の任期が平成19年12月31日満了となります。このため、引き続き同氏を推薦することについて市長から意見を求められ、審議の結果、異議のない旨回答いたしました。

◆請願第3号
中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書提出についての請願
深谷市町田277-24 公明党地区連合会長 須永 長次郎 (採択)